

平成 27 年 3 月 11 日

各 位

株式会社 三井住友銀行

丸紅プライベートリート投資法人に
「SMB C サステイナブル ビルディング評価融資」を実施

株式会社三井住友銀行（頭取：國部 毅）は、丸紅プライベートリート投資法人（執行役員：宰田 哲男）に対し、「SMB C サステイナブル ビルディング評価融資」を実施しました。

「SMB C サステイナブル ビルディング評価融資」は株式会社ヴォンエルフ（代表取締役：平松 宏城）と三井住友銀行が作成した独自の評価基準に基づき、企業が保有・建設するビルディングについて、「エネルギー」「水」「マテリアル」等の環境性能や、持続可能性確保のために必要な耐震、BCP・BCM等の「リスク管理」への取組み、およびそれらを推進する「サステイナブル経営の方針と実践」等を評価させていただくものです。

今般、丸紅プライベートリート投資法人がその持分を追加取得された「みなとみらいグランドセントラルタワー」を評価し「SMB C サステイナブル ビルディング評価融資」を実行しました。

「みなとみらいグランドセントラルタワー」に対する評価結果は、「エネルギーと大気」、「室内環境」、「リスク管理」項目を始め、全般に環境等のサステナビリティへの優れた配慮がなされていると判断され、総合評価ランクは「プラチナ」の高評価となりました。

特に、 昼光センサー、ライトシェルフ、自動制御ブラインドなどによる自然光の有効利用や、照明・空調の細かなゾーニング分け、地域冷暖房システムの導入により、建築物のライフサイクルエネルギーのうち大部分を占める運用段階の省エネルギーを実現されている点、 緑化義務面積の倍近い敷地内緑化と保水性高反射舗装の採用によってヒートアイランドを抑制されている点、 隣接するグランモール公園に面した店舗配置による歩行者空間の創出などにより、みなとみらい地区の活性化に貢献されている点、 制震構造の採用や非常時電源の確保など、BCP・BCMに向けた幅広い対策を実施されている点などが優れた取り組みとして評価されました。

三井住友銀行では、「SMB C サステイナブル ビルディング評価融資」により、環境性能が高く、震災等のリスク対策を講じたサステイナブルなビルディングの普及を金融の立場から支援することで、安全かつ環境に配慮した社会の実現に貢献をして参ります。

以 上

【参考】

みなとみらいグランドセントラルタワー 評価結果：プラチナ

所在 : 神奈川県横浜市西区みなとみらい四丁目6番2号

規模 : 地上26階、地下2階

敷地面積 : 12,929.99 m²

延床面積 : 112,099.96 m²

竣工 : 2011年

みなとみらいグランドセントラルタワー
PLATINUM ★★★★★



このニュースリリースは、投資や勧誘を推奨することを目的としたものではありません。